令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	13	学校名	静岡県立浜松特別支援学校	記載者	園田 一哉
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア <授 業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校				
児童生徒が夢中になれる学校生活の創造	年間計画の作成にあたって、時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化している。	A	A	卒業は、「全体最適」が重要視されることもあり、その切り替えを意識することも大切である。 学部や学年ごとに取り組み内容がはっきりしている。取り組みの中で地域とのつながりを持つことができている。 児童生徒のモチベーションを高める学校生活の創造を目指すことは素晴らしい。
協働的な学びの充実	集団で取り組む（友だちと取り組む）良さを生かした授業を実施している。	A	A	集団活動を大切にしながら自分らしく力強く生きる人を育てる視点で授業している。
個に応じた指導の充実	願う姿を描き個別の教育支援計画の目標を設定し、これを基に個別の指導計画を立てている。	A	A	児童生徒一人一人に寄り添いながら個別の支援計画を立て、取り組んでいる。
自立活動の充実	流れ図から指導すべき目標を導き出し、時間の指導・教育活動全体を通じた指導を使い、効果的に指導を行っている。	A	A	
生活単元学習、作業学習の充実	最良のテーマを基に、成就したいことは何かを明確にした授業づくりをしている。	A	A	作業学習においては、教師の手を抜いていく、という観点も大切であると思う。 生活単元学習や作業学習をとおして課題を見つけて解決しようとする力を育てている。

様式第5号

国語・算数/数学の充実	実態から学習指導要領の領域・段階を捉えて年間指導計画を立て、授業づくりをしている。	A	A	児童生徒の実態を把握しながら授業実践している。
ICTの活用の促進	タブレット端末やクラウドを活用し「個別最適な学び」「協働的な学び」を目指した授業づくりをしている。	B	B	これからの社会は間違いなくタブレット等の扱い方について使いこなさないと時代についていけない。例えば「スマホの活用」「英語のスピーキング」等、特色のある活動をもっと広めていっても良いのではないか。個別対応形式の授業でもICTの活用ができるが良い。デジタル化は障害のある方にとってプラスが多いので、更なる取り組みを期待する。
図工・美術等、表現活動の充実	個性を生かした表現活動ができるよう、個々の実態に合わせた素材や補助具を用意している。	A	A	年間を通して様々な作品展に出展し、個性を生かした表現活動を行っている。
道徳指導の充実	道徳の指導の観点から抑えるべき内容を確認して、各教科や合わせた指導等を行っている。	A	A	
イ <安全> 命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校				
命を守る意識と行動力の向上	児童生徒の命を守るために、指示が無くとも取るべき行動を自分で判断することができる。	A	A	地震・津波(南海トラフ地震)を学びながら、自助・共助を考え、人との関わり方を身につけてほしい。定期的に避難訓練を行い、災害や緊急時の対応について協議が図られている。あらゆることを想定した防災マニュアルの設定が必要。
安全・快適な環境づくり	施設を効果的に活用するために、廃棄・片付け・清掃に自ら気付き取り組んでいる。	A	A	効果的な施設の活用に向けた取り組みをしている。

事故防止の強化	けがの予防、不慮の事故を無くすよう、児童生徒の実態に応じた配慮を行っている。	A	A	交通安全標語を毎月電子掲示板等で呼び掛けている。
人権を守る意識と行動力の向上	学校が児童・生徒の居場所(安心する場)となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。	A	A	教師自身の「人権感覚」を高めることが大切であると考えている。 職場環境づくり、安全安心に関する内容について話し合いを行い、言動や人権について振り返りができている。
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校				
発信力の向上	学校をより理解してもらえよう、伝え方、発信の仕方を工夫している。	A	A	Instagramを活用し、幅広く広報している。
江之島地区三校(浜特・江南中・江之高)の協働体制の強化	三校による取り組みとして何ができるかを考え取り組み始めた。	B	B	担当者間で3校の連携について協議され、3校生徒会の交流につながっている。 江之島地区3校に近隣の小学校が加われば縦系列の一貫教育の体制ができる。 江之島地区3校が協働で取り組む活動は、是非、継続・発展していったほしい。 前進を確認した。情報発信をお願いします。
学校応援隊の活用の推進	地域を知る、地域と触れ合う、地域の役に立つ等の活動に取り組んでいる。	A	A	生徒たちが卒業していく「地域」「社会」とはどのようなものか、を意識していくことが重要であると思う。 地域の教育リソースの積極的な活用を今後とも進めていったほしい。 地域との顔の見える交流や地域、近隣の学校等の資源を活用する意識が高まっている。 静岡県SDGsスクールアワード企業賞受賞、おめでとうございます。
進路指導の充実	児童生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にしたい進路指導をしている。	A	A	進路について本人、保護者双方の意向を大切にしながら検討している。

様式第5号

センター的機能の充実	高等学校のニーズに対応するため、教育相談、研修支援等への依頼に応じている。	B	B	保護者や児童生徒のニーズに合った進路に関する情報発信について協議している。
エ <チーム> 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校				
コミュニケーション力の向上	働きやすいチームとなるよう、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。	A	A	児童生徒の気持ちをくみ取って支援や指導ができるよう職員研修を継続している。
浜松特支教職員としての自覚の向上	老朽化・狭隘化・津波の三大リスクに対し、すべきこと・できることを考え、実践している。	A	A	
働き方改革の推進	特別な場合は除き、週に複数回、空き時間を確保している。	B	B	学校計画段階で教員配置を明確にして空き時間を作れるよう努めている。 困難な課題であるが、先生方のワークライフバランスは教育の質を高めるので取り組みを継続してほしい。
	時間外勤務 45H/月以上が連続する職員はいない。	A	A	子どもたちの命、人生を大きく左右する教職員こそ、大切にされないといけない。それだけ高い使命をもつ教員であるという一人一人の自覚をもっていただきたい。 退勤時間を意識しながら業務をしている。 時間外勤務 45H/月以上が連続する職員はいないことはすばらしい。今後も教師が行う業務と地域・保護者、その他の職種へ任せる業務の仕分けを進めていけると良い。
指導効果を高める予算の執行	必要物品の計画的な購入、不具合箇所への迅速な対応、不要物品の積極的な廃棄等を行っている。	B	B	計画的な物品購入がなされている。
倫理観の向上	不祥事0件	A	A	不祥事がない中でもグループワークを通じて自分事として考える機会を作っている。 健全な告発ができる仕組みがあると良い。自由意見を大事にしたい。